

# ふれあい vol. 98

社協は社会福祉協議会の略称です。



8/21・22  
大塔ふくしサマーキャンプ



7/25 ふれあい講座（小学校の部）祥水園



8/1 ふれあい講座（中学校の部）ルポゼまきの

- 平成22年度社協事業報告・決算報告
- 赤い羽根共同募金運動が始まります
- 「東日本大震災」支援活動
- ふれあい講座（福祉体験学習）
- 大塔ふくしサマーキャンプ
- ふれあい相談
- 地区社会福祉協議会会長紹介

この広報誌は赤い羽根共同募金助成金・福祉基金・善意の日募金配分金の一部を使用して作成しています。

平成22年度は「みんながしあわせに暮らせるまちづくりをみんなですすめます」の経営理念のもと、次の事業をおとして住民の皆さまとともに福祉活動を実施しました。

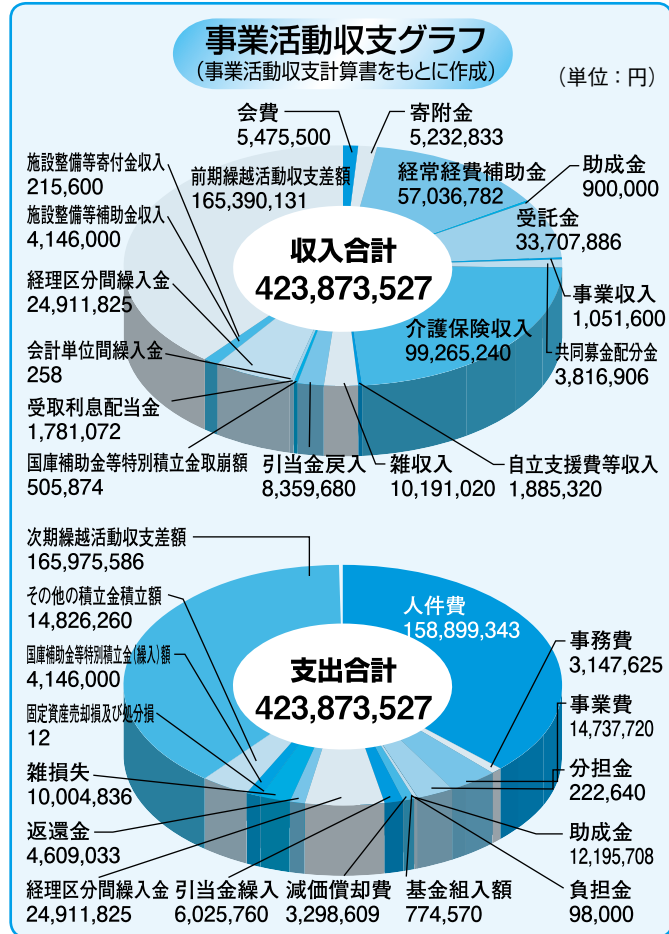
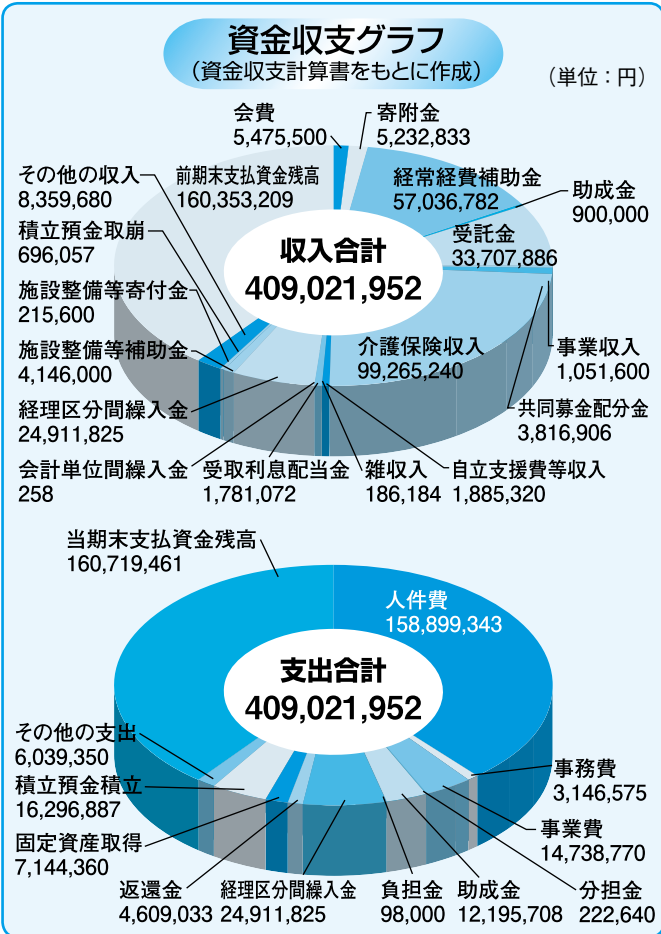
1 会の運営と組織基盤の確立強化

- ① 理事会、評議員会の開催
- ② 経営改善計画の実行
- ③ 住民会員制度の加入促進
- ④ 福祉基金の充実
- ⑤ 職場内研修の推進と職員資質の向上
- ⑥ 研修会等への参加

2 社会福祉活動の振興

- ① 広報啓発活動の推進
- ② 地区社会福祉協議会の基盤強化と活動支援
- ③ 各種調査活動、福祉課題の把握
- ④ ボランティアの発掘、育成、助長
- ⑤ 福祉教育の振興
- ⑥ 小地域ネットワーク活動の推進
- ⑦ 地域福祉権利擁護事業の推進
- ⑧ 在宅福祉サービスの充実強化
- ⑨ 生活福祉資金貸付事業
- ⑩ 社会福祉関係団体への協力援助
- ⑪ 五條市善意銀行の運営
- ⑫ 共同募金会の運営
- ⑬ 百歳祝激励訪問
- ⑭ 団体運営
- ⑮ 奈良県社会福祉協議会への運営協力

◆ 一般会計 ◆



貸借対照表

(単位：円)

●資産の部	
流動資産	182,678,518
固定資産	247,178,975
合 計	429,857,493

●負債の部	
流動負債	21,959,057
固定負債	73,687,420

●純資産の部	
基本金	3,000,000
基金	125,485,279
国庫補助金等特別積立金	4,578,460
その他の積立金	35,171,691
次期繰越活動収支差額	165,975,586
合 計	429,857,493

貸借対照表って？

社協の資産や負債がどれくらいあるのかを示しています。

資産－負債＝純資産



先生を対象とした  
福祉教育研修



西吉野  
ええとこ見つけ隊

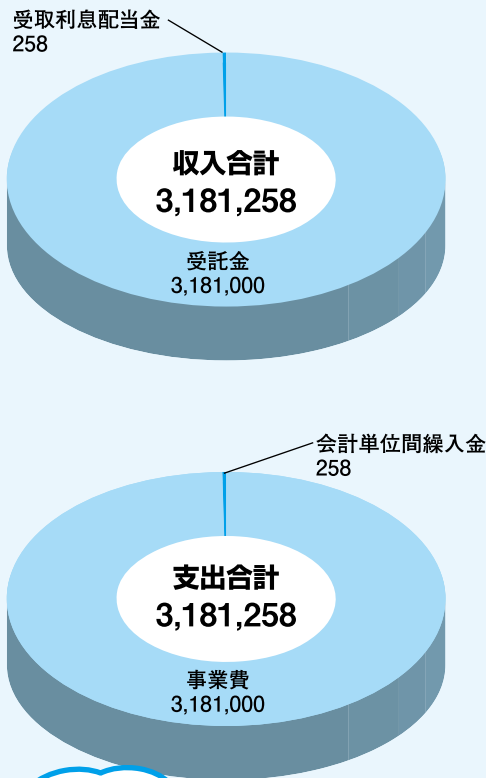
- 3 受託事業**
- ① 在宅高齢者配食サービス事業
  - ② 障害者デイサービス事業
  - ③ 生活管理指導員派遣事業
  - ④ 生きがい活動支援通所事業
  - ⑤ 福祉センター管理運営
- 4 居宅介護事業（障害者自立支援法による福祉サービス）の経営**
- ① 障害者へのホームヘルプサービス
- 5 介護保険事業の経営**
- ① 指定居宅サービス事業
  - ・ 高齢者へのホームヘルプサービス
  - ・ 高齢者へのデイサービス
  - ② 指定居宅介護支援事業
  - ・ 介護サービス計画（ケアプラン）の作成
  - ・ 要支援、要介護認定調査の受託

## ◆ 特別会計（福祉センター管理運営事業）◆

### 資金収支グラフ

（資金収支計算書をもとに作成）

（単位：円）

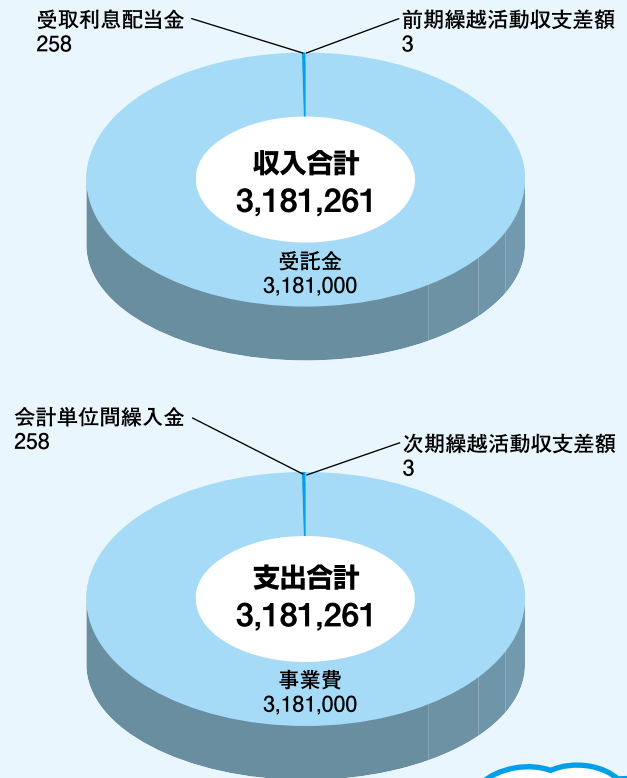


資金収支  
計算書って？

### 事業活動収支グラフ

（事業活動収支計算書をもとに作成）

（単位：円）



事業活動収支  
計算書って？

### 貸借対照表

（単位：円）

●資産の部	
流動資産	342,935
固定資産	3
合 計	342,938

●負債の部	
流動負債	342,935
固定負債	0
●純資産の部	
基金	0
積立金	0
次期繰越活動収支差額	3
合 計	342,938

現金や預金など（流動資産と流動負債）が増減した時の収入・支出を示しています。

社協すべての財産（純資産）が増減した時の収入・支出を示しています。



今年、支えあうことの大切さを知った。



赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金です。  
災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立っています。

## 赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日 赤い羽根 共同募金 [www.akaihane.or.jp](http://www.akaihane.or.jp)  
東日本大震災では、赤い羽根のもとにたくさんの義援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

# 赤い羽根共同募金運動が 10月1日から始まります。

共同募金は、「赤い羽根共同募金」として親しまれており、10月1日から12月31日まで全国で一斉に実施されます。

五條市でも1日から、JR各駅やスーパーなど市内各地の街頭での呼びかけをはじめ、様々な方法で募金運動を行います。

集められた募金は、地区社会福祉協議会活動など市内での福祉活動に使われます。（一部は、奈良県内外の福祉活動に使われます。）

このことから「赤い羽根共同募金」は寄付した地域で活かす募金といえます。

今年度も皆様のご協力をお願いいたします。

## 共同募金はさまざまな方法で募金をお願いしています。

共同募金は地域みんなの支えあいです。そのため、ひとりでも多くの皆さまに協力していただけるよう、さまざまな方法で募金の協力を呼びかけています。

- 戸別募金** 自治会を通じて各家庭へ
- 街頭募金** 街頭やイベントで
- 法人大口募金** 企業・商店の皆さまへ
- 学校募金** 児童・生徒の皆さまへ
- 職域募金** 官公庁・企業・福祉施設等の職員の方へ



昨年の募金の様子

## 共同募金の使いみち

### 地区社会福祉協議会への助成

地区社協が実施する高齢者・子育てサロン、世代間交流や敬老会などの福祉活動のために。

### 大規模災害時の支援

大規模な災害が起きた時に限り、県内外を問わず被災地支援のために。

### 各種福祉団体への助成

地域においてさまざまな福祉活動を行っている福祉関係団体への支援のために。

### 五條市社協だより「ふれあい」発行費の一部

年4回発行する広報誌発行費の一部として、地域福祉情報の発信や福祉教育の啓発のために。

### 赤い羽根地域支えあい事業（公募事業）

教育・子育て・防災・住民参加のまちづくりなどにつながる活動を行う団体への支援のために。

### 赤い羽根共同募金啓発（資材費・事務費）

赤い羽根共同募金運動を広めるための啓発資材や事務費のために。

詳しくはホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.akaihane.or.jp/>

はねっと

検索

## 「東日本大震災」支援活動

東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
奈良県内の社会福祉協議会では、東日本大震災により多くの被害を出した東北地方を支援するため、3月下旬から8月末までの間、宮城県気仙沼市社会福祉協議会災害ボランティアセンター（以下災害Vc）への職員派遣を交代で行い、五條市社協からも職員2名が被災地へ赴き支援活動を行いました。

災害Vcとは災害時に社協やNPOなどが協働して設置し、被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

活動内容は、①各地から訪れるボランティアの受け付け。②家の片付けや避難所でのお手伝いなどボランティアにしてほしいことの募集・受付・調査。③受け付けたボランティアの派遣場所の調整。④ボランティア活動のために必要な資材の準備と貸出。などです。

そんな災害Vcには、被災地のために何かできることはないかと全国から数多くのボランティアの方たちが集まり、自分にできるボランティア活動をしています。



## 被災地レポート 支援活動に参加して

5月14日から19日の間、気仙沼市社協災害ボランティアセンターへ派遣されました。

震災から2ヶ月経過していましたが、気仙沼市の沿岸部は町が根こそぎ消失している状況で言葉を失いました。

災害Vcで担当したのは、避難所・仮設住宅以外で生活物資等が不足している世帯へ個別に物資を届けることや、自治会等の協力を得ながら青空市の開催を手伝いました。また、仮設住宅に入居されている方が、互いに助け合って生活できるように、コミュニティづくりのためのニーズ把握をおこないました。

復興はまだまだ始まったばかりです。今後は住民・行政・社協・NPO・支援ボランティアが協力して復興に向けて、長期的な支援や住民に寄り添った活動が必要です。また、日ごろからもしもの場合に備えて、防災に対する取り組みを家庭、地域や職場で行つことの重要性を痛感しました。

現地の活動を終えて、被災地の一刻も早い復興を願っています。

（地域福祉係 西林）



7/25  
8/1

## ふれあい講座 福祉体験学習より

五條市内の小・中学生を対象に、夏休みを利用して福祉について学ぶ「ふれあい講座」を開催しました。

7月25日は小学生を対象に「祥水園」で、8月1日は中学生を対象に「ルポゼまきの」で、手話講座やアイマスクを使つての手引き、車いすの介助などの体験をしました。

また、高齢者の皆さんとのふれあいの時間では、日頃は高齢者と接する機会が少ない児童・生徒が多いようで、最初は恥ずかしそつにしながらもお話や折り紙をして徐々に打ち解け、楽しい時間を過ごしました。

一日の体験を終えた児童・生徒の皆さんは、福祉についてそれぞれにいろいろな思いを感じ、充実した一日となったことでしょう。



8/21  
22

## 大塔ぶくぶサマーキャンプ

赤谷オートキャンプ場において、大塔町に住んでいる子どもたちを対象に「ぶくぶサマーキャンプ」を開催しました。

1日目は、地域のボランティアの皆さまと一緒にカレーづくりに挑戦し、2日目は、高齢者の疑似体験装具を身につけて、障がいのあることや、高齢者の動きにくさ・生活の不自由さを体験しました。

また、消防署の職員によるAED（自動体外式除細動器）を使った救命方法なども学びました。

参加した子どもたちは、自分たちを見守ってくれる地域の人々の存在を感じたり、体験をとおして、たすけあいや思いやりの心を育む機会となったのではないのでしょうか。





# ひとりで悩まずお気軽に

無料

## こんなことで困っていませんか？

家族のこと、子育てのこと、介護のこと、近所とのトラブル、行政に関すること、人権に関すること。

五條市社会福祉協議会では、住民の皆さまのお困りごと相談をお受けするため、本所（新町3-3-2）にてふれあい相談事業を行っています。

個人情報厳守いたしますので、ひとりで悩まず気軽にご相談ください。月曜～金曜の間、右記の相談員がお話をお聞きます。

また、電話相談も実施しておりますので、直接お越しになれない方はお電話ください。

【面接相談】 福祉センター（新町3丁目3-2）

実 施 日	相 談 員
月～金曜日	9時～17時 相談コーディネーター
火 曜 日	13時～16時 家事・民事相談員 ※要予約
水 曜 日	13時～16時 行政相談委員
木 曜 日	13時～16時 人権擁護委員
金 曜 日	13時～16時 民生児童委員

【電話相談】 ☎ 24 - 2200

■受付日時 9:00～17:00（月曜～金曜）

※17時以降と休館日は、留守番電話

## 西吉野町・大塔町にお住まいの皆さまへ

五條市社協では西吉野・大塔支所において地域福祉活動を展開しており、面接・電話どちらでも相談をお受けしています。もちろん、本所に面接相談、電話相談していただくこともできます。

【支所住所】〒637-0237 五條市西吉野町宗川野97番地（西吉野保健福祉センター内）

【支所電話】☎33-0294

## 平成23年度 地区社会福祉協議会会長

五條市では、現在15地区において地区社会福祉協議会が組織され、皆さんの身近な地域でそれぞれに地域の特性を活かした福祉活動を展開しています。

平成23年度の各地区の会長をお知らせします。

また、15地区社協を代表する地区社協会長代表には二見地区の生多享司さんが選ばれました。

（敬称略）

地区名	氏 名	地区名	氏 名
本 町	時永義成	牧 野	谷向照樹
中 央	松本英嗣	田 園	上田幸一
五 條 東	山本健彦	阪 合 部	西本和男
須恵岡口	中 巖	北 宇 智	中 正 彦
新 町	樋上芳光	南 宇 智	芳田忠男
二 見	生多享司	南 阿 太	亀西欣治郎
野 原	西口重雄	大 阿 太	田中 仁
宇 智	片岡義博		

## 東日本大震災への義援金を寄託 ＝介護保険事業所協議会＝

五條市介護保険事業所協議会（本田廣明 会長）では、「何らかの行動をおこし、少しでも被災者のお役に立てれば」との思いから、各事業所の職員や利用者に募金を呼びかけました。

寄せられた義援金268,427円は、7月に五條市を通じて日本赤十字社奈良県支部へ届けられました。

## ご寄付いただき ありがとうございました

（敬称略） 平成23年5月20日～平成23年8月15日 （単位：円）

### 福祉基金

金 額	氏 名	住 所	摘 要
50,000	大 西 修 二	二見2-6-39	亡父供養として

### 善意銀行

金 額	氏 名	住 所	摘 要
20,000	乾 義 春	西吉野町茄子原674	地域福祉のために

福祉基金…積み立てられた預金の利子を地域福祉の活動資金として役立てます。

善意銀行…皆さんの善意を災害見舞金など市民の福祉向上に役立てます。



ふれあいネットワーク



発行／社会福祉法人五條市社会福祉協議会

〒637-0043 奈良県五條市新町3-3-2

TEL 0747-24-4152

FAX 0747-24-4153